

業 務 瓦 版

2017年2月28日

第 31 号

J R 東海 労新 幹線 地本
業 務 部

「全般検査における委託業務の見直しについて」会社提案！

2017年2月28日、業務委員会が開催され浜松工場の「全般検査における委託業務の見直しについて」の会社提案を受けました。

浜松工場は新ラインが出来てから4回目の委託業務の見直しとなります。

今回新規に委託する業務は「運転台解体、直ジョイント解体、側引戸解体、側開戸解体、戸閉機械解体、室内加修」で、平成29年6月1日からというものです。これによって14名の要員が削減されるというものです。

地本は、JR本体も委託会社も労働条件の変更になることから、安全と健康を確保することを強く訴えました。

提案内容および若干のやり取りは以下の通りです。

1. 実施内容

浜松工場で施工している全般検査業務について、その一部を新規に関係会社へ委託する。

・新規に委託する業務

運転台解体、直ジョイント解体、側引戸解体、側開戸解体、戸閉機械解体、室内加修

2. 実施箇所

浜松工場

3. 要員体制

実施箇所	検修作業	要員増減
浜松工場	運転台解体、直ジョイント解体、側引戸解体、側開戸解体、戸閉機械解体、室内加修	△14

4. 実施時期

平成29年6月1日

以 上

安全と健康を損なわない労働環境を！

業務委託を小出しにせず全体像を示すべきだ！

- 組合 なぜ業務委託するのか。
- 会社 新ラインに移行してから、直営、外注の区分わけについて状況を確認してきた。
- 組合 なぜ6月からなのか。
- 会社 1月から状況を見てきた。あと3ヶ月で可能という判断をした。
- 組合 車両故障にもかかわる重要部品を扱うことになる。教育など3ヶ月で間に合うのか。
- 会社 重要部品だが、車体から取り外すだけの作業であり、機能確認は事前に入場検査等で直営が把握し、取り付けも直営である。
- 組合 △14についてはどのように考えているのか。
- 会社 経験者の一部は委託先会社にといいこともあるが、あとはJR内で対処となる。
- 組合 委託業務を小出しにしているが、社員にとっては将来像が見えず、生活設計にも不安があると懸念する。業務委託の全体像を示すべきだ。
- 会社 決まったものからお伝えしている。品質保証が一番であり、必要な時期にお伝えしている。
- 組合 私たちは労働組合として労働条件を一番に考えている。社員に不安のないように前広に示すべきだ。
- 会社 お示しできるときに示す。
- 組合 今言えないなら、年度初の計画などについて協議するときにも出てくると期待する。

*私たち新幹線地本は職場の組合員・社員の声をもとに、安全で働きやすい労働条件及び職場環境の改善に向けて、今後も会社に申し入れを行い問題解決に向け協議していきます。問題点や要望事項等があれば JR 東海労新幹線地本までお知らせ下さい。

ホームページアドレス <http://www.geocities.jp/jrcushinkansen2/right.html>
メールアドレス jrcushinkansen@yahoo.co.jp